

事業実績シート

協会事業名	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	佐々町三大花まつり開催事業			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	佐々町	産業経済課	松田 和久	0956-62-2101
事業期間	開始年	平成30年4月1日 (5年目)		
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他[]			
実施期間	(開始日) 30年4月1日 (完了日) 31年3月31日			
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先(TEL)
	(委託内容)			
助成事業の目的 ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)	
	町民、周辺市町住民等		早春から初夏にかけて町を彩り、町内外から多くの人を訪れる河津桜・しだれ桜・花菖蒲の3つの花を、単体の素材・イベントとして終わらせず、「三大花まつり」として連動させることによって、波及と拡大を図り、もって、交流人口の拡大、商工業の振興、コミュニティの活性化を図りたい。	
助成事業の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	<p>【しだれ桜まつり】 真竹谷広場に植栽された県内最多11品種60本のしだれ桜が満開見頃を迎える時期に開催するまつり。園内の自由散策によるしだれ桜の鑑賞。町内事業者が桜をテーマにした弁当の販売。 平成30年4月4日～13日 10日間</p> <p>【花菖蒲まつり】 皿山公園内にある菖蒲園に植栽された県北一2万株の花菖蒲が満開見頃を迎える時期に開催するまつり。園内の自由散策による菖蒲鑑賞の他、出店や大正琴の生演奏、マリンバの演奏、うなぎの掴み取りなども開催。 平成30年6月2日～3日 2日間</p> <p>【河津桜・シロウオまつり】 桜づつみ遊歩道沿いに植栽された260本の河津桜の満開見頃を迎える時期に開催するまつり、同時期、佐々川を上るシロウオ漁が最盛期を迎え、漁体験イベントも開催。 平成31年3月3日 1日間 ・さざシロウオグルメフェア、商店おもてなしフェア 平成31年3月4日～31日 28日間</p>			
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	(事業開始の背景)			
	<p>早咲きで知られる佐々川沿いの河津桜や全国各地から取り寄せた珍しいしだれ桜群など、千年桜の里計画のもと、町内各地で植栽育成を進めてきた桜が成長し、満開見頃を迎える時期には、知る人ぞ知る町の隠れた観光スポットとなっていた。</p> <p>20年以上の長きに亘って、町主催の観光イベントとして開催してきた「皿山まつり」であったが、近年、内容もマンネリ化し集客も伸び悩む状況が続いており、抜本的な打開策や改革が必要な時期を迎えていた。</p>			
	(経緯・現状)			
	<p>3月上旬に満開見頃を迎える「河津桜」、4月上旬に満開見頃を迎える「しだれ桜」、6月上旬に満開見頃を迎える「花菖蒲」、それぞれ「花」をテーマとした集客観光イベント化を進めつつ、3つの花のまつりを連携させた「佐々町三大花まつり」へと発展させ、早春から初夏にかけた町の主要観光素材(スポット)として、拡大と普及に向けて取り組んでいる。</p>			

事業実績シート

1 事業の概要

平成30年度 観光イベント実績（町主催）

① しだれ桜まつり

県内最多11品種60本のしだれ桜が植栽された真竹谷広場を会場に「しだれ桜まつり」を開催しました。

- 1 開催日時 平成30年4月4日(水)～13日(金) 10日間
- 2 来場客数 4/4:100人、4/5:100人、4/6:100人、4/7:350人、4/8:350人、4/9:50人、4/10:50人
4/11:50人、4/12:50人、4/13:50人 合計1,250人（4/7,8は、警備員がカウント
それ以外は開花状況確認時の来場者から算出）
- 3 事業概要 園内自由散策による桜鑑賞。
- 4 事業経費 祭り費（消耗品費、委託費他）157千円

② 花菖蒲まつり

県北一2万株の花菖蒲が植栽された皿山公園の菖蒲園を会場に「花菖蒲まつり」を開催しました。大正琴やダンスなど、町内団体の催し物やうなぎのつかみ取りのイベントも併せて開催しました。

- 1 開催日時 平成30年6月2日(土)～6月3日(日) 2日間
- 2 来場客数 6/2:昼間 3,500人・夜間 225人、6/3:昼間 4,000人・夜間 145人 計7,870人
- 3 事業概要 園内自由散策による花菖蒲鑑賞。直売所前駐車場にて商工業者によるテントや移動車での販売も実施(21店舗)。6/2(土)大正琴演奏(3団体)、ダンス(2団体)、窯焚き体験。
6/4(日)マリンバ演奏、ウナギのつかみ取り(北部商工会)。もろぶた寿司、ぜんざいを数量限定での無料配布(皿山直売所)。
- 4 事業経費 祭り費（消耗品費、委託費他）1,085千円

③ 河津桜・シロウオまつり

桜づつみ遊歩道沿いに植栽された260本の河津桜の満開時期に合わせ、最盛期を迎えるシロウオ漁にスポットを当て、実際にシロウオ漁を体験できるイベントを開催しました。また、商工会協力のもと町内8店舗によるシロウオグルメフェアや町内9店舗によるMRコラボ企画商店おもてなしフェアを開催しました。3/3には、ステージイベントや出店、ジョギングフェスティバル参加者へのガラポン抽選会などのイベントを開催した。

○ 河津桜・シロウオまつり（佐々町商工会中央部会による）

- 1 開催日時 平成31年3月3日(日) 10:00～16:00 1日間
- 2 開催場所 松浦鉄道佐々駅裏駐車場
- 3 来場客数 約2,300人（出店売上から算出、ガラポン抽選会：約200人、工業部会：約100人）
- 4 事業概要 町内商工業者、農協等によるテント販売、ステージイベントの実施。
- 5 事業経費 祭り費（消耗品費、印刷製本費他）1,005千円

○ シロウオ漁体験（佐々町商工会中央部会による）

- 1 開催日時 平成31年3月3日(日) 1日間
- 2 開催場所 佐々川下流（桜づつみ遊歩道） 漁足場3箇所
- 3 参加者 67人（21組）
- 4 体験概要 四ツ手網による漁体験(30分)。

○ さざシロウオグルメフェア（町内8店舗による）

- 1 開催日時 平成31年3月4日(月)～3月31日(日) 各店舗営業時間による 28日間
- 2 事業概要 町内8店舗によるシロウオを素材にした料理や商品を販売。

○ 商店おもてなしフェア（町内9店舗による）

- 1 開催日時 平成31年3月4日(月)～3月31日(日) 各店舗営業時間による 28日間
- 2 事業概要 おもてなしクーポンの提示による町内9店舗でサービス等の実施。

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費 (円)		4, 979, 494	1, 838, 899	2, 246, 050				
(財源内訳)	国庫支出金	0	0	0				
	県支出金	0	0	0				
	地方債	0	0	0				
	その他	500, 000	0	0				
	市町振興共同事業助成金	2, 000, 000	919, 449	1, 123, 025				
	一般財源	2, 479, 494	919, 450	1, 123, 025				
成果(活動)指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①		イベント来場者数	人	目標	10,000	10,000	10,000
					実績	12,652	10,901	11,420
					目標達成率 (%)	126.6	109.0	114.2
	②				目標			
					実績			
				目標達成率 (%)				

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価 (公益性) <input checked="" type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス		(必需性) <input checked="" type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス		必需 (+) 私益 (-) 公益 (+) 選択 (-)
	(2) 行政関与の妥当性評価 妥当性低い 妥当性高い (-) 0 (+) 		(3) 廃止又は休止した場合の影響 (影響内容、程度等) 町の数少ない観光資源であり、集客力として、大きな潜在力を秘めた素材である。こうした各素材をテーマとしたまつりを開催し、3つを連携したイベントとすることで、徐々に県内外にも知られるようになりつつあり、町民や町内商工業者の機運も盛り上がりつつある。 現状では、まだこうした素材を活かし、取り組みを承継して、発展させていくような団体等もなく、廃止又は休止した場合、町観光として、大きな損失を生じることとなり、住民や商工業者の機運を衰退させることとなる。		

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		イベントの充実や、TV・ラジオ等のメディアでの宣伝・普及活動の増加。
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地		
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある		(工夫の内容・工夫の余地がない理由)
	実施予定 期 日	平成31 年度	各イベントの充実を図るとともに、入込客数の増加に向けた宣伝PRを強化する。 また、案内看板等の設置による会場(駐車場)への誘導の強化や交通整理警備員の配置増員による来場者の安全面を確保する。
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)	
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない		この時期に統合できるイベントは他にない。	
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		将来的な展望として、町観光協会等の団体による開催ができれば、その方がより発展的な展開が期待できると考えるが、現状においては、受託できる団体等が存在せず、イベントとしてもまだまだ未熟な状態にあると思われ、行政による受け皿づくりやイベントとしての成熟を進める必要がある。
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)
<input type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		当該事業を受託し運営できる団体等が存在しない(観光協会は、現在、町が暫定的に事務局となっており、組織改編によって運営方針等を協議している最中で、専任事務局長・職員も存在しない)。	

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
具体的内容	まちの活性化を図るうえで、このような交流人口の拡大を目指したイベントがもたらす効果は非常に大きく、町民にとっては、郷土に対する愛着や誇りといった感情を醸成し、町外に対しては、佐々町という町の知名度を上げ、その活力を実際に目にし、体感する絶好の機会となる。「佐々町に住んで良かった」「佐々町に住んでみたい」と多くの方に感じていただくためにも、町として当該事業を継続発展させ、併せて、更なるコミュニティの活性化と充実を図っていききたい。				